

奈良県営競輪場再整備・運営事業に向けた現地確認会について

1. 目的

民間事業者が施設及び敷地の現況を把握するために実施する現地確認会（以下「本会」という。）について、以下のとおり実施する。

2. 本会の位置づけ

本会は、本事業の方針にふさわしい提案を求めるとともに、本事業に関心を有する民間事業者の理解を促すことを目的として、民間事業者が現況確認を行うことを目的とする。

なお、奈良県営競輪場再整備・運営事業（以下「本事業」という。）に関する新たな説明や条件整理を行うものでないとともに、本現地確認会への参加は任意であり、参加の有無が審査結果に影響することはない。

3. 実施可能な確認・調査内容

本会において実施可能な内容は、以下に限定する。

（1）施設・敷地の目視確認

- ・施設外観及び内部
- ・敷地形状、動線、周辺環境
- ・既存施設及び設備の配置状況

（2）寸法・位置関係等の把握

- ・図面等との照合を目的とした寸法感、高低差、位置関係の把握
- ※機器・器具を用いた計測等の実施を可とする。

（3）写真・動画撮影

- ・提案検討を目的とした範囲での写真・動画撮影

4. 実施可能な施設・箇所

本会において実施可能な施設・箇所は、以下のとおりとする。

- ・奈良県営競輪場敷地内
- ※北側敷地・機械室・屋上等を含む。
- ※実施する施設・箇所は事前に申し込むこと。

5. 実施不可とする行為

以下の行為は、実施不可とする。

- ・施設・設備等の操作、稼働、通電行為
- ・施設・設備・構造物等の改変、破壊、損傷、撤去、移動その他現状を変更する行為
- ・利用者、職員等の業務や利用を妨げる行為
- ・新たな資料提供や条件説明を求める行為
- ・県が禁ずる区域への立入り行為
- ・県が禁ずる範囲での写真撮影・動画撮影行為
- ・社名、ロゴ、名刺配布等、事業者を特定し得る情報を表示又は提供する行為
- ・その他県が実施不可を求める行為

6. 費用負担

本会への参加に要する費用は、全て参加者の負担とする。

7. 責任及び免責

本会の実施に伴い生じた事故、損害等については、参加者の責任において対応するものとし、主催者は一切の責任を負わない。

＜補足資料 使用可能な調査機器の具体例＞

本資料は、奈良県営競輪場再整備・運営事業に係る現地確認会（調査）において、使用可能な調査機器の例を示すものです。

本資料に記載のない機器の使用可否については、県の指示に従ってください。

1. 使用可能な調査機器の例

- ・レーザー距離計
- ・巻尺、メジャー
- ・デジタル水平器
- ・下げ振り
- ・非接触型温度計
- ・照度計
- ・騒音計
- ・簡易傾斜計
- ・カメラ、タブレット端末（写真撮影用） 等

2. 使用にあたっての留意事項

- ・施設、設備への加工、固定を伴わないものに限ります。
- ・電源の接続、通電、設備の稼働確認はできません。
- ・他の参加者や施設利用に支障を及ぼさないよう配慮してください。
- ・他の参加事業者との会話・名刺交換その他これらに類する行為は禁止とします。
- ・ヘルメット・安全靴等は各自ご持参ください。
- ・単独行動は禁止し、必ず県の指示に従ってください。
- ・当日、本事業に関する質疑応答は受け付けません。
- ・主催者が不適切と判断した場合、使用を中止していただくことがあります。